# 九州の交通事業者が連携した モビリティサービスの取り組み

2022年5月10日

九州旅客鉄道株式会社 西日本鉄道株式会社 第一交通産業株式会社









2021年10月6日

九州旅客鉄道株式会社 第一交通産業株式会社 西日本鉄道株式会社

#### JR 九州・第一交通・西鉄 デジタルを活用したモビリティサービスの構築に 3 社が連携して取り組みます

~MaaS 等を活用し、シームレスで利便性の高い交通ネットワークの実現を~

九州旅客鉄道株式会社(福岡市博多区 代表取締役社長執行役員: 青柳俊彦/以下「JR 九州」)、第一交通産業株式会社(北九州市小倉北区 代表取締役社長:田中充一郎/以下「第一交通」)、西日本鉄道株式会社(福岡市博多区 代表取締役社長執行役員:林田浩一/以下「西鉄」)(以下、「3社」)は、デジタルを活用したモビリティサービスの構築に関する覚書を締結しました。

交通事業の経営環境は、少子高齢化の進展・人口減少といった恒常的な社会課題に加え、新型コロナウイルスの感染症拡大による公共交通のご利用減少により、非常に厳しい状況下にあります。同時に、デジタル技術の進歩、モビリティの技術革新、地球環境への配慮、新型コロナウイルスによるライフスタイル・働き方の変化などは、今後の交通事業に大きな影響をもたらす可能性が高く、私共事業者も既存のあり方に捉われない大きな変革が求められています。

この度、上記社会変革への対応、シームレスで利便性の高い交通ネットワークの実現を目指 し、デジタル技術の活用を3社で連携して検討していくことに合意しました。

既に各社では、ICT を活用して複数の交通手段を連携させ、予約・決済まで行う MaaS の活用に取り組んでおり、今回の協業では、地域や観光地における移動の利便性向上や既存公共交通機関の有効活用、高齢者の外出機会の確保、スマートシティの実現など3社のデジタル資源を活用したより良い地域交通ネットワークの構築に連携して取り組んでまいります。

今回の連携では、3 社が強固な地盤を持つ北九州市を中心に展開するものとし、具体策としては、北九州市の様々な観光施設をお楽しみいただける周遊パスポートと JR 九州の列車・西鉄パスの乗車券、第一交通タクシーの特典クーポンがセットとなったデジタルチケットを発売いたします。また、ご高齢の方を対象として第一交通タクシーを活用した JR 九州・西鉄の運営する商業施設へのお買物支援サービスを展開いたします。

なお、上記デジタルチケットの発売については、北九州市様のご支援・ご協力を受け、実施 いたします。

今後も3社の連携・協力により、お客さま目線でのシームレスで利便性の高い交通ネットワークの実現や、地域の活力向上に、貢献してまいります。







2019年5月 JR九州×第一交通

> 2019年10月 JR九州×西鉄

2021年10月 JR九州・西鉄・第一交通 3社輸送サービス連携発表

かつて激しい競争下にあった3社が連携

### ■ 地域交通とモビリティサービス・MaaS

#### 厳しい地域交通の現状









#### モビリティサービス・MaaS









- ・少子・高齢化によるご利用減で減便・廃止が加速
- ・支える労働力も不足
- ・競争が成立しないマーケットで競争

- ・交通事業者が連携した新しい地域交通 ネットワークづくり
- ・牛活サービス・観光・行政・商業など 地域コンテンツと連携した移動需要創出

### 厳しい地域交通の大転換・再構築の契機

### MaaSを手段として

「持続可能な地域交通ネットワークの構築し 「住み続けられる地域づくりに貢献し

## 「九州の足を支える交通事業者」としての責務

「移動の自由のない地域は衰退する」 各社の**事業基盤維持の観点からも極めて重要**な命題

#### ■JR九州 中期経営計画2022-2024

当社グループ経営計画の体系 安全とサービスを基盤として 九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ あるべき姿 誠実/成長と進化/地域を元気に おこない 安全・安心なモビリティサービスを軸に 地域の特性を活かしたまちづくりを通じて 2030年長期ビジョン 九州の持続的な発展に貢献する 2030年長期ビジョン実現方針 環境変化の前提を踏まえた 「2030年長期ビジョン実現方針」と 中期経営計画 「中期経営計画」を新たに策定 2022-2024 毎年の事業方針 ◆2030年長期ビジョン実現方針 方針① 価値観の変化を捉えた"豊かな生活を実現する"まちづくり 方針② 九州の持続的な発展に貢献する領域の拡大



「2030年長期ビジョン」 実現方針

実現に向けて取り組む "3つの進化"の1つが 「モビリティ」

#### 2-1. 方針① | "豊かな生活を実現する"3つの進化

豊かな生活を実現するため、「商品・サービス」、「モビリティ」 「エリア」の進化を目指す。

モビリティの進化 エリアの進化 商品・サービスの進化 豊かさの価値観変化に基づいた まちとまち、人と人をつなげ 面的なまちの拡大 商品・サービスを創造 コミュニティ形成を促進

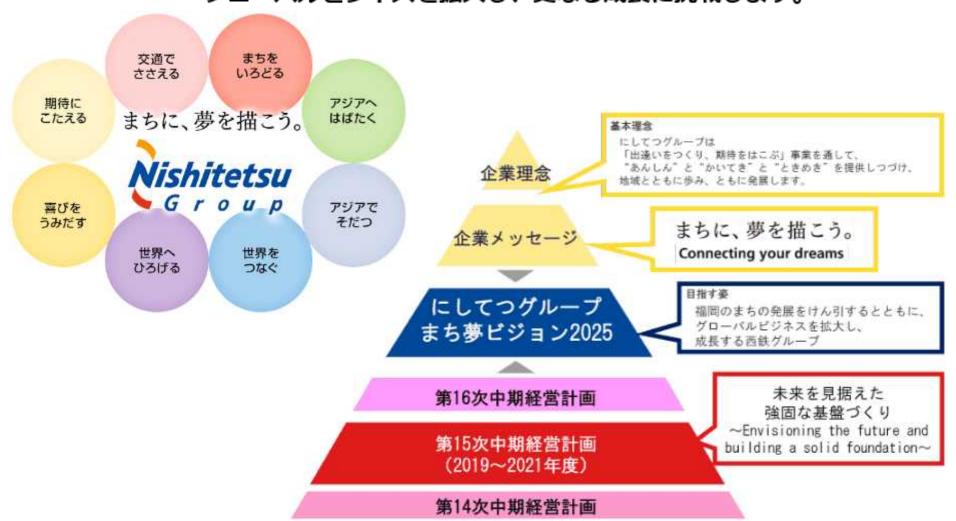
- デジタル技術の進展を踏まえた。 モビリティリービスを軸に、まち同士のとの接点や交流の場を拡大 "つながり"を強化。
- 進化した"つながり"により、お客さま
  自治体や他の事業者との連携強化 により、マイカーを持たなくても便利に 生活できる生活圏を拡大

モビリティサービスを軸に 自治体や他の事業者と連携

### ■ 西鉄 長期ビジョン「にしてつグループまち夢ビジョン2025」



にしてつグループは、福岡のまちの発展をけん引するとともに、 グローバルビジネスを拡大し、更なる成長に挑戦します。



## No.1タクシーネットワーク



14

## (広域エリア提携) の新戦略

従来型のエリア展開

- ・株式取得や事業譲受によるM&A
- ・相手から持込の事実上の救済型(待受型)



シェア率のアップ

#### 拠点外で緩やかな業務提携を推進

- ・タクシーチケットの相互利用で利便性向上 (エリア拡大、利用可能車両の増加)
- ・当社エリア外でのマスコミ取材時等の利用を紹介
- ・スケールメリットを活かした資材調達

今後の展開として、商材やノウハウを提供

- ・ママサポート、子どもサポート、墓サポート
- ・スマホ配車、便利屋、代行運転、クーポン券
- ・おでかけ乗合タクシー、広域観光コース
- ・次世代タクシー車両・無線機の購入・リース協力
- ・損害保険の一括加入、燃料購入のメリット享受
- ・モビリティやカーボンニュートラルへの取組の共有

サービスの全国平準化

新興勢力の本格進出に対抗

ライドシェア、自家用有償、NPO

スピード感を持ったネットワーク構築

#### NO.1タクシーネットワークとは

タクシー事業者の相互協力によりお互いがスケールメリットを享受し、 営業サービスの連携や共同調達(価格交渉・条件交渉)により事業性を高めると共に、 公共交通機関として地域の足を守る役割を果たす。



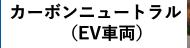






現在加盟店企業 約450社 約40,000台

NO.1タクシーネットワークへ 価格・条件共有











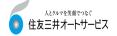












他約20社

## シームレスなモビリティサービス=交通事業者がつながること

1社のサービス・狭いエリアでは成立しない

## 地域のコンテンツとの融合=様々なプレイヤーとの連携

交通事業者だけの取り組みではない

## リソースの確保=持続可能なスキームづくり

「導入して終わり」ではない 開発・維持し続けるための「ヒト・モノ・カネ」が必要 交通は「民間事業」で収支も重要

交通事業者1社の取り組みでは実現不可能

交通事業者・地域が一体となった連携が重要

### 交通事業の厳しい経営環境と一大転換期

### 「競争から"共創"に」

### 「輸送サービス連携」が本質=交通事業者連携を推進

MaaSも肝心の輸送サービスがつながっていなければ成立しない











2021年10月6日

九州旅客鉄道株式会社 第一交通產業株式会社 西日本鉄道株式会社

JR 九州・第一交通・西鉄 デジタルを活用したモビリティサービスの構築に 3 社が連携して取り組みます

~MaaS 等を活用し、シームレスで利使性の高い交通ネットワークの実現を~

九州旅客鉄道株式会社(福岡市博多区 代表取締役社長執行役員:青柳俊彦/以下「JR 九 州」)、第一交通座業株式会社(北九州市小倉北区 代表取締役社長:田中亮一郎/以下「第一 交通」)、西日本鉄道株式会社(福岡市博多区 代表取締役社長執行役員:林田浩一/以下「西 2019.5 **第一交通産業・JR**九州

2019.10 西日本鉄道·JR九州

2021.9 宮崎交通·JR九州

2021.9 西日本鉄道·第一交通産業·JR九州

2022.3 九州産交バス・タクルー・JR九州

**■ 今後の方向性** 10



特性の異なる輸送サービスの連携 + MaaSなど新しいテクノロジーの活用

### ■JR九州・西鉄の輸送サービス連携 (北九州市 JR下曽根駅 2020.3~)



JR九州と西鉄バスが 競争していたエリアで連携

効率的輸送体系を目指す



#### 周辺住宅地から下曽根駅へ フィーダー路線新設

(従来は住宅地~小倉都心直通系統が中心)

乗り継ぎ利用に 便利なダイヤ設定



改札口前に バスロケーションシステム設置



バス車内運賃表での 列車発車時刻案内

運行情報の相互提供



ベンチ増設 サイン整備等 乗り継ぎ設備整備!



### ■JR九州・西鉄の輸送サービス連携 (北九州市 JR戸畑駅 2022.2~)





戸畑駅みどりの窓口内に西鉄バス定期券発売所を設置



- ・北九州市のご協力により、戸畑駅ロータリー内のバス待機場拡張
- ・駅舎内に西鉄バス乗務員の待機・休憩スペースを新設
- →JR・西鉄バスの結節機能を向上

## 両社の連携と資産の有効活用により 輸送サービスの利便性向上・利用促進を目指す

#### ■AI活用型オンデマンドバス『のるーと』

補完

地域の需要を

幹線交通へと

すくい取り、

つなぐ

JR駅を拠点に、西鉄がAIオンデマンドバス「のるーと」を展開連携して新しい地域交通の利用促進を目指す



#### 鉄道・路線バス



- ·定時定路線
- 大量輸送が可能
- 乗り合い

#### のる一と



- ・AIが予約状況等に応じ
  - 効率的なルートを生成
- ・需要に応じ小型車両がきめ細やかに運行
- ・出発地や目的地の近くで乗り降りできる
- 乗り合い

一部の運行を地元タクシー会社に委託

#### タクシー



- **か分り** . ドアtoドアの移動が可能
  - 乗りたいときに乗れる
  - ・プライベートな乗車空間

## すみ分け

急ぎの時や早朝 深夜の時間帯は より利便性の高い タクシーを利用

## 展開実績

福岡市(東区アイランドシティ)

福岡市(西区壱岐南地区)

宗像市(日の里地区)

大阪市 (平野区)

長野県 (塩尻市)



<u>『のるーと』機能を『myroute』に連携予定</u> (2022年度予定)

### ■交通事業者が連携したMaaSの推進 ~"my route"の活用~

- ・トヨタ自動車、トヨタファイナンシャルサービスが開発・提供。
- ・福岡・北九州・宮崎・水俣・沖縄・佐賀・大分・横浜・富山・愛知で展開 約30万ダウンロード
- ・JR九州・西鉄・第一交通を中心に各地の交通事業者と連携し九州・沖縄各県に展開。
- ・自社開発ではなくアライアンスで進める(3社は利用料を支払い共に開発する「地域パートナー」)

### 主な機能

### ルート検索・提案・予約

様々な交通モードを組み合わせ、 個人の希望にマッチするルートを検索。 検索結果からJR/高速バス/ANA/ レンタカー/タクシー配車/シェアサイ クルなどの予約・利用も可能。



#### デジタルチケットの発売 いつでもどこでもスマホで 買えるデジタルチケット 画面がそのままチケットに バス・鉄道乗車券 観光施設入場券 QRコード利用割引クーポンなど 巫申券 パーコードを表示 要調を表示 021/11/10 10:39:08 山田九州 等音 數交道 IRAKETAX お買物デジタルきっぷ (September 1998) ORコード乗車券 までご発布可能です 11/10 最終までご利用可能 무게 石利田可能エリア。 二利用案先 国業の標金とは集役もを進る際に基件を 飲食品または見解的にはっきりと有効し

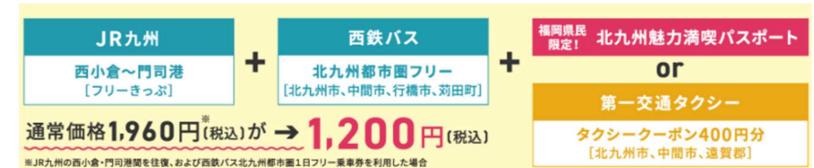
QRコード利用

割引クーポン機能

するがない



### ■JR九州・西鉄・第一交通連携「北九州いってきま~すチケット」













MaaSアプリによる3社の輸送サービス連携+地域コンテンツ(=観光)連携 北九州市の観光・経済振興策との連携

### ■おきなわMaaS 〜船舶も加わった多様な交通連携〜

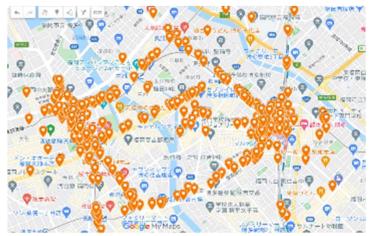


grouter

各社路線バス・タクシー・船舶・レンタカー・カーシェアなど **多様なモビリティ連携と他社サービスのシナジー効果**を発揮

### ■JR九州・西鉄連携「天神・博多 乗レール買エールチケット」





街の回遊性向上にも寄与



MaaSアプリによる交通サービス連携+地域コンテンツ(=商業施設)連携 街が一体となった取り組み

コロナ禍の影響を受けながらも5~6割が新規誘発利用

### ■宮崎交通·JR九州連携「宮崎MaaS」

JR&宮交バス「日南1デーフリーパス」



@ 宮崎交通

2018/12/23 13:40 12 JPDM OTESS 新題 | 数据 - 06人口

伊比井

DUE

日南線

■発売価格:大人2,000円(こども1,000円)

■有効期間:1日

・日南海岸の観光のご利用に加え、宮崎市~日 南市のビジネス・買い物・通院などのお出か けにも、おトクにご利用いただけます。

沿線観光施設などでご利用いただける デジタルクーボンもセット。

「宮崎市〜日南市の都市間・日常利用」

「日南線+路線バスによる**青島・日南海岸の観光**」

観光・商業・飲食など50施設の特典クーポン付き

- ・並行する鉄道・バスの双方が利用可能 厳しい路線を連携して「活性化」
- ・「観光の利便性向上」にも寄与

JR&宮交バス「お買物デジタルきっぷ」

宮崎空港線



@ 宫崎交通

■発売価格:1,500円

■有効期間:1日

JRフリー乗車券

+アミュプラザみやざき商品券1,000円分

+宮崎駅~街ナカ

バス・グリーンスローモビリティ

沿線施設のデジタルクーポンもセット。 JRとバスで街歩きが便利におトクに。

宮崎市「グリーンスローモビリティ」も利用可能 中心市街地の来街促進・回遊性を向上

- ·「鉄道+バス+商業との連携|
- ・宮崎市の「**まちづくり政策との連携**」

多様な連携とMaaSアプリの活用で持続可能性を高める



### ■接点のなかった企業との連携による新たな移動サービス

- ・宮崎MaaS"my route"はJR九州・宮崎交通・宮崎トヨタ自動車が連携して運営
- ・"my route"から「トヨタシェア」(宮崎トヨタ自動車運営)の 予約・利用が可能。**10駅にカーシェアステーションを新設**。 (宮崎・南宮崎・南延岡・高鍋・都城・青島・飫肥・日南・油津・南郷)
- ·宮崎県内のシェアサイクル「PiPPA」も宮崎トヨタ自動車が運営
- ・鉄道・バスとトヨタシェア・シェアサイクルPiPPAを組み合わせた 新しい移動スタイルを提供







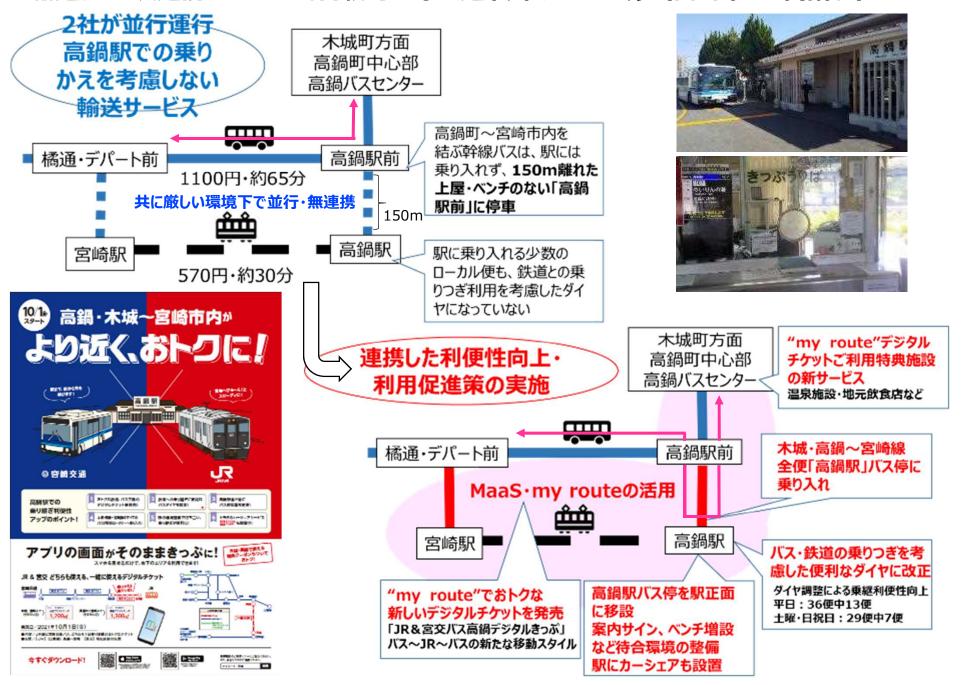


超小型EV C+pod 青島エリアで実証中



これまで接点のなかった企業との連携で 新たな移動サービスを構築し、MaaSを推進

#### ■輸送サービス連携 + MaaSで持続可能な交通ネットワークづくり (宮崎県 JR高鍋駅)



### ■官民一体となったMaaS実行組織 ~大分県由布院の事例~

会長 由布市まちづくり観光局 (DMO)

委員長 **亀の井バス・JR九州** 副委員長 **西日本鉄道・**由布院温泉観光協会

<交通事業者など> 第一交通産業、みなとタクシーグループ ANA トヨタファイナンシャルサービス ゆふいんグリーンスローモビリティ研究会

<自治体> 大分県 由布市

<観光団体> 由布院温泉旅館組合

**<アドバイザー>** 

国土交通省(九州運輸局·大分運輸支局·大分河川国道事務所) 九州観光推進機構



官民が一体となった実行委員会を設立 参画企業負担金と国交省・沿線自治体の補助により運営

交通事業者の取り組みを沿線自治体等にご支援いただく形展開中の宮崎県・佐賀県・長崎県でも同様の実行組織を設置

### ■沿線自治体との共創 ~宮崎の事例~

#### 補助金だけに留まらず、住民向けのPRなどでも自治体からのご協力を頂いています

宮崎県広報誌



宮崎市広報誌



日南市広報誌



県政番組(2番組)での紹介





- ・「地域交通ネットワーク」「DX」「スマートシティ政策」という新たな概念で自治体と対 話ができるように
- ・自治体との**財政支援だけではない新たな連携フレーム**の検討が可能に

### ■ 地域と連携した情報発信ツールとしての活用

各地の実行委員会を通じて特集ページのコンテンツを検討。自ら企画し、自らの足で集めた、出かけたくなる「地元ならでは」の耳より情報を発信。



#### <特集ページコンテンツ(宮崎の事例)>

- ■地元のおすすめグルメ・観光地 8選
- ■アウトドア体験コース
- ■宮崎・日南の観光コース
- ■「ジモミヤめし」(宮崎県産業政策課主催)連動企画
- ■**宮崎市観光協会**による情報発信 ・・・など随時更新中
- →沿線自治体と住民向け広報への活用を検討中

#### 観光情報・生活情報アプリとしての価値を創出

→交通事業者だけではなく**皆が活用・皆が支えるアプリに** 地域におけるMaaS・アプリの価値を向上

MaaSが一過性に終わらないよう、自治体、観光団体、 異業種との連携で持続可能性を高める仕掛けづくり

#### 厳しい経営環境下と一大変革期において・・・

モードをまたいだ**交通事業者の連携** 

+

交通事業者の連携・地域のコンテンツとの連携を 推進する手段として「MaaSを活用」

### 見えてきた課題

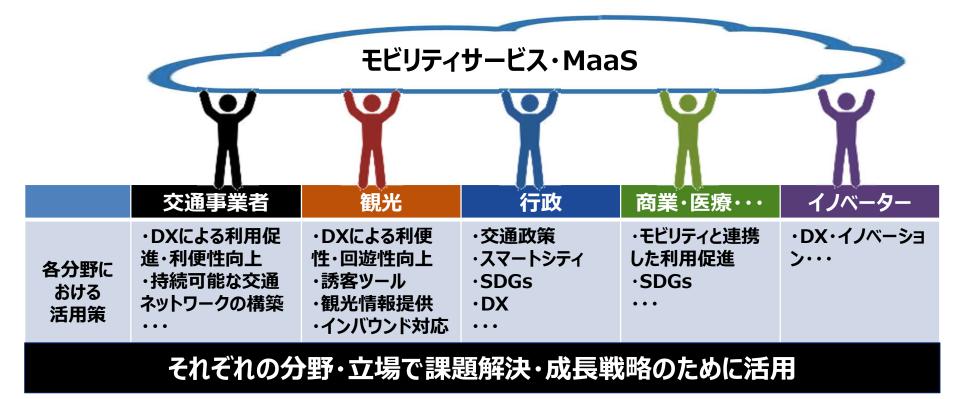
- ・交通事業者のコロナ禍の極めて厳しい経営環境の影響
  - →新しいことに取り組む**リソースが決定的に不足** 
    - コスト負担・人材・技術・ノウハウ・・・ 特に中小事業者で顕著な課題
    - 一過性の取り組みに終わらない持続可能なスキームが必要
- ・スピード感が必要なMaaSの展開
  - →数多くのMaaSプラットフォーマーによる「陣取り合戦」の様相

地域内のサービスがバラバラではお客さまの利便性は著しく低下 PFが増えれば交通事業者のリソース負荷も比例して増加

「withコロナ」での競争力向上に向けた取り組みも急務

#### ■今後の課題=持続可能なスキームの構築

「展開・維持・開発を続けるための**リソース( = ヒト・モノ・カネ)」をどう確保**するか。



数多くの交通事業者、交通政策、観光振興・・・様々な要素が関連。

交通事業者が担う役割は大きいが、もはや1社単独の取り組みではない。

「イニシアルだけ行政が補助。あとは交通事業者で・・・」という形ではない新たなスキームが必要。

「一緒に活用、一緒に支える」持続可能なスキームが必要

#### ■九州·沖縄地域のMaaS展開状況

各県で**交通事業者連携の推進に共同で活用**できる基盤づくり

一つのプラットフォームでお客さまの利便性と観光の競争力を向上

#### ■福岡県(糸島)

SEED HD(昭和バス・福岡トヨタ)が 展開

#### ■佐賀県

1/11 サービススタート

#### 西九州新幹線開業 デスティネーション キャンペーン連携

#### ■長崎県

4月に実行組織設立 2022年度夏にスタート予定

#### ■熊本県

JR九州・九州産交・タクルーの連携で 2022年度内に導入予定

#### ■熊本県水俣市

UTモビリティーサービス(熊本県のトヨタ 販売会社)が中心に展開

#### ■福岡県

3社で連携し活用推進

#### ■大分県

2/1 由布院・別府でサービススタート 2022年度はエリア拡大 第一交通産業の空港ホバークラフト運 航を契機とした展開も推進

#### ■宮崎県

宮崎交通とJR九州が連携し活用推進

#### ■鹿児島県

県と2022年度導入に向け検討開始

#### ■沖縄県

第一交通産業が2022年2月スタート

各県の交通事業者・自治体との連携で2022年内に全県で導入の見通し 九州運輸局・九経連・九州観光推進機構とも連携

### ■「九州地域における広域連携」で共創を推進

- ・プラットフォーム・アプリ提供者との調整を一本化
- ・システム開発の効率化、利用料のスケール化などのメリットが大

### プラットフォーム・アプリ提供者

(my routeの場合はトヨタ自動車・トヨタファイナンシャルサービス)

利用料支払 システム開発要請 (人材派遣・開発支援・・他) サービス提供 各種利用実績データ提供 新サービス開発

## 交通以外の プレイヤー

- ・損保・広告・医療・ヘルスケア・不動産・商社・・・既に幅広い業界からアプローチ
- ・「九州MaaS」プラットフォーム・アプリを 通じ、自らが提供するサービスを提供
- ・九州のサービス・窓口が一本化されていることは、交通以外のプレイヤーとの幅広い連携に効果(スポンサー化)

スポンサー サービス提供

利用促進

### 九州MaaS広域連携組織(準備中)

#### 九経連・九州観光推進機構・九州運輸局と協働

- ・現行の各県の官民による実行組織が連携した組織体
- ・コスト・リソース・開発力・データ活用・ナレッジを一体的に集約
- ・幅広いプレイヤーによるコスト分担など持続可能なスキームを目指す
- ・既存の各県実行組織も存置し各県単位での検討・運営を実施

宮崎県 実行組織 佐賀県 実行組織 大分県 実行組織 長崎県 実行組織 ・・ 今後展開する 各県にも設置

#### 各県交通事業者・自治体・観光団体などで構成

統一した「九州MaaS」 サービス利用 統一した「九州MaaS」の提供 PR・利用促進策の実施

### お客さま・地域住民

各県の動きを広域で連携し、**官民一体となった「共創」スキーム**を構築 リソース、ナレッジを集約し、持続可能な取り組みを推進

# ありがとうございました。





